

平成 24 年度筑波大学「革新的な教育プロジェクト」

人文・文化学群比較文化学類

グローバル人材育成のための 開かれた学習環境の構築



筑波大学 人文・文化学群比較文化学類

バウムクーヘンの会

担当教員：人文社会系 相澤 啓一

2008年にベルリン自由大学と、そして2011年にボン大学と、それぞれ全学協定が締結されて、筑波に交換留学生としてやってくるドイツ人学生の数は飛躍的に増えました。それぞれの大学との交換留学定員枠（5名）はいつもほとんど一杯ですし、日本学を学んでいる学生が来るので日本語もかなり上手です。こうして来筑するドイツ人学生たちがドイツに関心を持つ日本人学生たちと交流できるように作ったのが「バウムクーヘンの会」です。積極的にドイツ語を学んでいる筑波大学生の中でもドイツに関心を持つ学生たちが全学から集まり、毎週一回定期的に集まっています。ベルリンから最初の学生が来たときから活動を開始して、早くも5年がたちました。

食いしん坊の女子学生がつけたこの名前に反して、おいしいバウムクーヘンが出されることはめったにありません。代わりに毎週の定例会では、日独の学生が、それぞれ日本人学生はドイツ語で、ドイツ人学生は日本語で、身の回りのテーマや習慣、大学生活や故郷の町について発表し、議論し、またちょっとしたゲームをして過ごします。こうして親交や友情を深め、情報交換をする中で、例会以外の場所でも、知り合った学生同士で日曜日に一緒に出かけたり、お互いに言葉を教えあうタンデムをしたりしています。もちろん筑波からベルリンやボンに留学する学生もいますし、これからドイツ留学に行こうという学生もいますから、これらの日本人学生にとってもドイツ語をブラッシュアップし、情報収集するための絶好の機会となっています。ときには定例会が「留学説明会」や調理実習会に変身したりもしています。2012年からはハレ大学との協定も加わり、さっそくハレからの留学生も参加しています。

このように、学内での貴重な日独草の根交流の場として定着した感のある「バウムクーヘンの会」ですが、順調な活動を続けてきた今、さらなる改革が必要な時期に来ているのかもしれない。学期中はみんな忙しいので、とりわけ日本側参加者がやや寂しいときがありますし、日本人学生のドイツ語レベルのさらなる上達を望みたいところです。また単に親交を深めるだけでなく、学内活動としてふさわしいレベルの充実した議論をもっと戦わせられる機会にしていきたいとも思います。新学期を迎えるたびにメンバーも入れ替わり、毎年秋になるとドイツ人留学生の顔ぶれも一新します。今後も参加者のみなさんにはますますいろいろアイデアを出し合い、自らも研鑽を重ねて、「バウムクーヘンの会」をさらに充実した素敵な課外活動に育てていっていただきたいと思います。

T A氏名：ハルトヴィッヒ・マヌエラ
出身：ドイツ
所属：人文社会科学研究科 研究生

2012年9月に登録したベルリン自由大学から来て、筑波大学人文社会科学研究科でマスター論文の為に研究をしにきた私は、比較文化学類のバウムクーヘンの会で Teaching Assistant をしました。その活動について、または感想を少しご紹介したいと思います。

Teaching Assistant のアルバイトのは、ドイツ語を勉強している筑波大学の日本人の大学生を応援してあげました。色々な日本人の友達ができ、日本の文化、生活、仕方を見てきたり、深い観点ができたりしていました。同時に自らの観点を拡大してもらいました。毎週に一回行われたバウムクーヘンの会の皆様に会っていて、面白かったし、自分の日本語の勉強の為に役に立ったと思います。もしかすると、それがなかったら、つくばの生活は少し寂しかったかもしれません。

そして、私は日本人の大学生がドイツのことに関する最も深い感想ができたと思います。忘られないように思い出ができた私は必ず、一番いい経験だったと思います。

T A氏名：Anastasia bender
出身：ドイツ
所属：比較文化学類

Ich bin im letzten Trimester immer gern zum Baumkuchentreffen gegangen. Beim Baumkuchentreffen habe ich viel gelernt und dabei auch viel Spaß gehabt. Durch die informativen und gut gestalteten Vorträge meiner japanischen Kommilitonen habe ich einiges über die Kultur Japans gelernt, das ich vorher noch nicht wusste. Ich hoffe, dass die Vorträge der deutschen Studenten für die japanischen Studenten genauso interessant und lehrreich waren. Ebenso hoffe ich, dass wir den japanischen Studenten die deutsche Kultur etwas näher bringen konnten. Das Baumkuchentreffen war auch eine gute Gelegenheit, um mein Japanisch zu verbessern und immer wenn ich eine Frage bezüglich einer Hausaufgabe o.Ä. hatte, konnte mir von den anderen Mitgliedern des Baumkuchentreffens geholfen werden und ich habe immer so gut es geht meinen japanischen Kommilitonen geholfen, wenn diese Fragen zur deutschen Sprache oder Kultur hatten. Auch dieses Trimester werde ich das Baumkuchentreffen regelmäßig besuchen und hoffe, dass ich noch viel lernen werde und meinen japanischen Kommilitonen noch einiges Deutschland beibringen kann.

T A 氏名 : Heike Erkes

出 身 : ドイツ

所 属 : 比較文化学類

Beim Baumkuchentreffen haben Deutsche und Japanische Studenten die Chance, einander zu helfen Japanisch und Deutsch zu lernen. Ich finde das Treffen ist eine gute Gelegenheit neue Bekanntschaften zu schließen und gleichzeitig etwas über die japanische Kultur zu lernen. Außerdem macht es jedes Mal Spaß Zeit mit den anderen Teilnehmern zu verbringen, weil wir uns mittlerweile angefreundet haben und einander immer etwas neues beibringen können.

Die Vorträge die beim Baumkuchentreffen von den Deutschen und den Japanischen Studenten gehalten werden, sind immer sehr interessant und sind eine gute Möglichkeit für die Studenten, das Sprechen vor der Klasse, sowie Vorträge in der Fremdsprache die sie lernen zu üben.

Ich fände es schön wenn noch mehr Leute zum Baumkuchentreffen kommen würden, weil es momentan etwas ruhig geworden ist und jede Woche nur noch wenige Studenten kommen.

Außerdem fände ich es auch schön wenn wir mehr unternehmen würden, zum Beispiel nach dem Treffen zusammen Essen gehen oder ähnliches.